

茅の輪くぐり無病息災祈る

茅野 御座石神社で夏越の大祓式

園児たちも参加し、健康で元気に過ごせるよう願いながら茅の輪をくぐった



茅野市本町東の御座石神社で27日、「夏越の大祓式」が行われた。氏子総代（小尾一郎代表）や区役員、住民、隣接する中央保育園の園児らが参列。氏がカヤで仕立てた「茅の輪」をくぐり、今年前半に降りかかった災いやけがれをはらい清め、残り半年を健康で暮らせるように願った。

神職の祓詞奏上に続いて、参列者に紙でできた「人形」が配られ、それぞれ体の悪い部分をなで、息を吹きかけて茅舟に納めた。続いて、神職を先頭に「はらえたまい、清めたまえ」と唱えながら左右に8の字を描くように3回くぐり、参拝した。園児らの参加は恒例で、見よう見まねで取り組んでいた。

同神社の夏越の大祓式は毎年27日に行う。茅舟は昔は川に流したが、近年は氏が回収し1月のどんと焼きで燃やしている。小尾代表は「無病息災を祈り昔から行われてきた。子どもたちも体験を通じて地域の伝統に触れてもらえたら」と話していた。

茅の輪は30日午前11時まで設置し、自由にくぐる。（武井葉子）